

畑がパワーアップしました！

PTAの皆様には、畑の土の購入に際し、多くのご賛同とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

長年にわたって使用してきたことで土壌が少なくなっていた畑に、今回、新たに18㎡の黒土を追加し、植物の栽培に必要な最低限の土の量を整えることができました。これにより、今後しばらくは大量の土を追加せずとも、安定した環境のもとで畑でのさまざまな活動を進めていけそうです。

とはいえ、土は時間とともに徐々に減っていくため、今後も必要に応じて補充しながら、大切に活用していく予定です。授業で使用した1・2年生の鉢植えの土や、5年生の稲づくりで使った土などを畑へ戻すことで、年間を通じた土の維持に取り組んでまいります。

この畑が、子どもたちの学びの場として、また地域の方々との交流の場として、今後さらに素敵な場所になっていくことを願っています。



「ひまわり畑をつくろう！」イベントを開催しました

6月22日に開催したイベントには、子どもたちやそのご家族、先生方、地域の皆さん、卒業生など、総勢38名の方々にご参加いただきました。子どもたちやご年配の方々には花苗の植え付けを、中学生や大人の方には土運びをそれぞれ担当していただきました。

植え付けを終えた子どもたちが自発的に土運びを手伝う様子も見られ、その頑張りや笑顔がとても印象的でした。作業の後は、野草で遊んだり、パセリを食べるキアゲハの幼虫を観察したり、その幼虫を気にしながらパセリを摘んだり、自然にふれながら楽しい時間を過ごしました。

ヒマワリのほかにさまざまな花苗を植えています。これからどんな花が咲くのか、そしてどんな虫が集うのか、ぜひ楽しみにしてみてください。



花壇には

1年生のアサガオと2年生のミニトマトが並んでいます。アサガオはたくさんの花を咲かせ、ミニトマトも赤くて美味しそうな実をつけています。梅雨らしからぬ暑い日が続き、どちらの植物も少しバテ気味な様子。

子どもたちがお休みの日には、地域のボランティアさんが、早朝や夕方に水やりをしてくださっています。本当にありがたいことです。

お休みの日などに学校の近くを通られる際は、ぜひ植物の様子をのぞいてみてください。もしお時間があれば、ついでに水やりをしていただけると、とっても助かります！



キャベツの花がさくかも？

3年生のモンシロチョウの観察で大活躍してくれたキャベツ。

教材としての役目は終わりましたが、例年になく、今年は立派に、まるく育ちました。収穫はせず、このまま見守っていくことにします。

もしかすると、かわいらしい花を咲かせてくれるかもしれません。



コミュニティ・スクールである国領小学校では「学校と地域による畑・花壇の協働管理」に取り組んでいます。学校運営協議会による全面バックアップを受けて、教職員・児童・保護者・地域のボランティアのみなさんが力を合わせてお世話をしています。

この「国領グリーンレター」では、そんな畑や花壇の様子をお伝えします。

児童のみなさんにはもちろんのこと、保護者の皆様や学校施設を利用する皆様にも関心を持っていただき、植物を通してコミュニティの輪が広がることを期待します。